

# 川崎教授が受賞

日本IBM  
科学賞



川崎雅司教授

化粧品の日焼け防止成分などに使われている酸化亜鉛を用いた「青色発光ダイオード(LED)」の開発に

世界で初めて成功した川崎雅司・東北大金属材料研究所教授(43)が27日、基礎研究の分野で優れた活躍をしている国内の若手研究者をたたえる第19回「日本IBM科学賞」の受賞者に選ばれた。表彰式は11月22日に東京都内で行われ、賞金300万円などが贈られる。

同賞は、日本IBM(大塚卓麻社長)が1987年に、我が国の学術研究の振

興と若手研究者の育成に貢献するために創設。国内の大学や公的研究機関に所属し、物理やエレクトロニクスなど4分野で活躍する優れた研究者を対象とし、45歳以下と年齢制限を設けているのが特徴。今回は、川崎教授を含む5件5人が選ばれた。

青色LEDは消費電力が少くないなどの特長から、携帯電話のバックライトや信号機などに用いられるが、材料には主に窒化ガリウムが使われる。これに対し、川崎教授が開発した青色LEDは、材料に窒化ガリウムよりも安価で、無尽蔵にある酸化亜鉛を用いた。

## IBM 川崎東北大教授ら5人受賞

日本アイ・ビー・エムは二十七日、東北大金属材料研究所の川崎雅司教授ら五人に「日本IBM科学賞」を贈ると発表した。授賞式は十一月二十二日、東京都内で行われる。

川崎教授は「非常に権威のある賞をいただき、とてもうれしい。受賞したことで注目されると思うが、気を引き締めて研究を続けたい」と喜びを語った。

川崎教授の専門は電子材料化学。半導体の材料となる金属酸化物薄膜を、原子レベルで結晶が整然と並ぶように作る手法を考案した。この手法

下の研究者を対象に、物理、化学、コンピュータサイエンス、エレクトロニクスの四分野で優れた基礎研究を顕彰する。

IBM科学賞は一九八七年に創設。国内の大学や研究機関の四十五歳以